

# 2026 Information

※各行事は予定です。必ずホームページで日時をご確認ください。

## 学校説明会 ※要予約

[第1回] 4/18 (土) 10:00~12:00  
 [第2回] 8/3 (月) 10:00~12:00  
 [第3回] 11/14 (土) 10:00~12:00  
 過去入試問題勉強会も開催

[入試直前説明会] 1/11 (月・祝) 10:00~12:00  
 総合・グループワーク型入試体験も開催

## 個別学校見学会 期間中の平日のみ実施 ※要予約

[第1回] 5/18 (月)~6/5 (金)  
 [第2回] 8/4 (火)~8/28 (金)

## オープンスクール ※要予約

[夏] 6/20 (土) 10:00~12:00  
 [秋] 10/24 (土) 10:00~12:00

## 入試体験会/入試説明会 ※要予約

12/13 (日) 9:00~11:00

## 帰国生対象相談会 ※要予約

8/24 (月) 10:00~12:00

## 行事

[体育祭] 5/8 (金)  
 [校内英語弁論大会] 6/19 (金)  
 [ヨゼフ祭(学園祭)] 9/26 (土)・27 (日)

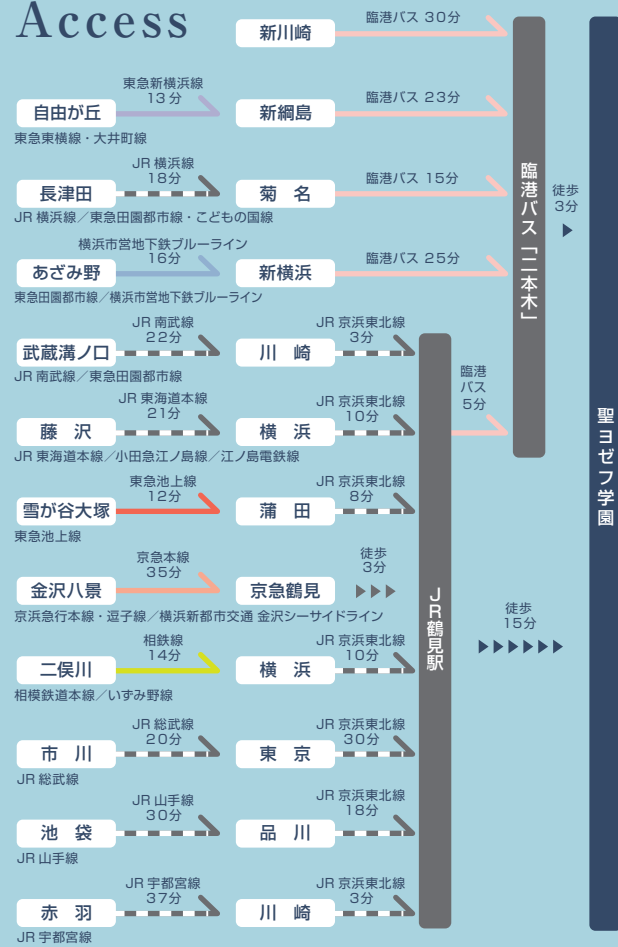
## MAP



JR鶴見駅西口・東急新横浜線新綱島・東急東横線菊名・JR新横浜・新川崎・川崎駅西口より臨港バス【二本木】下車  
 JR横浜駅・川崎駅西口・東神奈川駅より国道一号线市営バス【東寺尾陸橋下】下車



## Access



# St. Joseph's

## Junior & Senior High School



# 聖ヨゼフ学園中学・高等学校

聖ヨゼフ学園中学・高等学校

〒230-0016 横浜市鶴見区東寺尾北台11番1号  
 TEL 045-581-8808 FAX 045-584-0831  
<https://www.st-joseph.ac.jp/high/>



School Guide 2027

国際バカロレア  
MYP 認定校

# 時を越える愛のこころ

世界の和解と一致を掲げるポール・ワトソン神父の思いは、今の時代だからこそ、大切に受け継がれ広めていかなければなりません。初代校長の勝野巖神父が聖ヨゼフ学園で大切に伝えてきたその「愛」は、時を越えてなお、私たちのこころに強く受け継がれています。



## 信 望 愛

信仰・希望・愛の力によって一人ひとりが生かされていくようにこの三つの力（徳）を「信・望・愛」の校訓として掲げています。



# St. Joseph's Junior & Senior High School

## 学園の基本精神



理事長・学園長  
平松 達美

学校法人アトメント会は戦後の荒廃した社会状況の下、1953（昭和28）年、鶴見聖ヨゼフ小学校開校にあたり、普遍的な価値判断ができる人を育てる教育を目指し、「信・望・愛」を建学の精神と定めました。信（神を信じ）・望（神の約束の実現を希望し）・愛（神の愛ゆえに神を愛し、人々を愛する）とは、神に愛された私たちが、キリストと一致して、この世を生きるために、神が与えてくださる徳=生きる力です。私たちは、この建学の精神に基づき、幼稚園から高等学校に至る教育を展開しています。それは「信・望・愛」によって生きる人こそが、この混沌とした時代に希望の光をもたらし、愛をもって互いに支えあい、この世界に和解（アトメント）と平和をもたらすと確信するからです。

## 建学の精神と 国際バカロレアの ミッション



中学・高等学校 校長  
多田 信哉

学園の初代校長である勝野巖神父は、学園の教育方針について次のように示しています。

『私たちは、この世の様々な問題を他人事にせず、自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人を育てる教育を目指します。』

国際バカロレアの使命（IB mission statement）は、次のように示されています。

『国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探究心、知識、思いやりで富んだ若者の育成を目的としています。』

目まぐるしく変わる社会に立ち向かっていく子どもたちに必要な教育とは何かを考えたとき、まさに創立時に掲げた教育方針を、国際バカロレア教育プログラムの導入で実現することができると確信しています。私たちも、国際バカロレアも、共に平和で幸福な世界を築くことに貢献する人、「国際的な視野をもつ人間」を育成することを目指しています。

## 学園の教育方針

1. カトリックの教えに基づき、愛の心を涵養する。
2. 知性、徳性を高め、心身を鍛え、社会に貢献する人を育てる。
3. 神にいただいた個々の賜物に気づき、生かそうとする姿勢を育てる。

2023年11月、聖ヨゼフ学園中学校は、IB（国際バカロレア）MYP（中等教育プログラム・Middle Years Programme）認定校になりました。

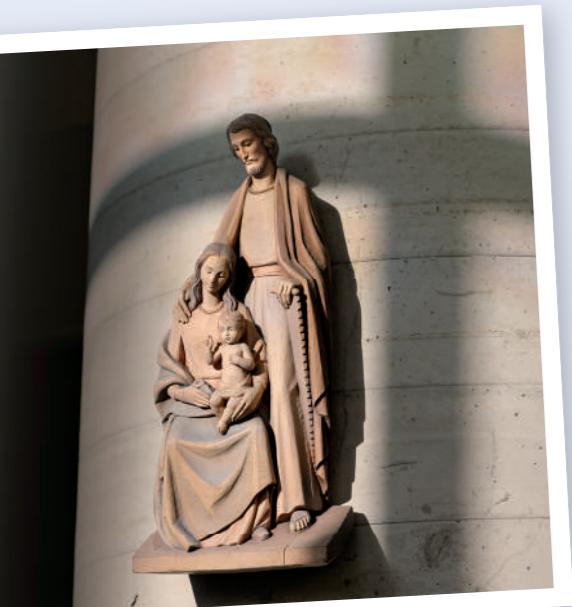




# 信 Faith

## ヨゼフのこころ

カトリック精神にもとづく  
全人教育。  
宗教教育を通じて、  
自分を知り、他者を知り、  
世界を知っていきます。



## 教育目標

### よく学び努力する人、知恵のある人

- 誠実に学び、自己の可能性を広げる。
- より高い価値の実現をめざし、知識を知恵に高めるように努力する。

### いのちを喜び、感謝と奉仕の心を持って生きる人

- 自分のよさを受け止め、いのちを与えられたことに感謝する。
- いのちを尊重する心と生活姿勢を持つ。
- 感謝にもとづいた真の奉仕の心を持つ。
- 良心の勧めに従って行動できる強い意志をもって生きる。

# Faith 宗教教育

## 宗教の授業

現代世界にみられる対立や紛争、人々の不安を解消するために、お互いの存在を大切にしながら理解し合い、助け合っていくアトメントの精神を学び、豊かな心を育みます。



### 学びのねらい

全学年、週に1時間ずつ「宗教」の授業があります。すべての学年を通して、神様からいただいた賜物をしっかりと受け止め、隣人を大切にしながら世界につながっていく神の愛について学んでいきます。

#### 〈 宗教の授業 〉

- 中1 キリスト教の基礎知識・『旧約聖書』を学ぶ
- 中2 『新約聖書』を通してイエスの生涯を学ぶ
- 中3 『新約聖書』から「イエスの死と復活」「弟子たちの宣教」について
- 高1 世界の宗教、それらを土台としたさまざまな文化・絵画・映画などを考察する
- 高2 長崎に関連するキリスト教（修学旅行）、平和学習
- 高3 神の愛と自己受容・6年間を振り返って

## 修養会

年に1回、すべての学年において「修養会」がおこなわれます。神父様やシスター方の講話をうかがいながら、静かな修養の時間を過ごします。各学年のテーマに沿って自分自身を見つけるとともに、仲間との分かち合いを行います。

#### 〈 修養会のテーマ 〉

- 中1 「かけがえのない『わたし』」
- 中2 「心の旅」
- 中3 「奉仕の心を育てよう  
～いのちへの共感～」
- 高1 「わたしにできること」
- 高2 「仕合わせとは？」
- 高3 「愛」



高3修養会の様子（近隣の教会にて）

## 生命尊重学習会

「修養会」と同様、全学年において年1回、「生命尊重学習会」の時間が設けられています。学年ごとに音楽療法士、医師、NPO法人の責任者など、各界で活躍されている講師を迎え、生命の尊さと人間としての生き方を学びます。

#### 〈 生命尊重学習会のテーマ 〉

- 中1 「子どもから大人へ」
- 中2 「異性」
- 中3 「しあわせになるために」
- 高1 「生きるってシアワセ！」
- 高2 「いのち」
- 高3 「愛」



## 宗教行事

カトリック教会にもとづいた宗教行事が学年を越えておこなわれます。

### 聖母奉獻式



### クリスマス



### ミサ



## Teacher Message

### 神様から愛され、喜ばれていると感じてほしい

宗教教育部 部長 春谷麻木

中学1年生から高校3年生まで、週に一度、学年ごとに設けたテーマに沿って宗教の授業をおこなっています。授業ではさまざまな内容を取り上げますが、一番願っていることは、生徒自身が「わたしは神様から愛され、喜ばれている」と感じ取ってくれることです。そして愛された者として、自分が置かれた場所をそのともしびで明るく照らすような、そんな強く優しい人になってほしいと思っています。また、授業のみならず、この学園生活でのすべての経験や交わりを通じて、ほんとうに大切なことを見定める目と大切なことを聞き分ける耳を持つことができるよう、人生を歩む上で道しるべとなる揺るがない普遍的な価値基準が育まれることを願っています。





# 希望

ヨゼフの学び

生涯学び続ける人となるために、探究的な学びや発信型の授業を通し、主体的に学ぶ力を育みます。



学習の特徴

## Hope 特徴的な学び

### 〈 主体的な学び 〉

すべての教科において、知識をインプットするだけでなく、得た知識を活かして探究し、その考えた内容を発信する機会を多く設けています。すべての担当教員が、一人ひとりの発信を丁寧に分析し、適切で有用なフィードバックができるよう心がけています。



### 〈 IB・MYP 認定校 〉

中学校では、MYP の8つの教科群に文部科学省の定める教科をあてはめまします。教科群を横断的に捉え、概念学習を通じて、教科内容と実社会との関連性への認識を高められるように学んでいきます。



### 〈 高校コースの設置 〉

高等学校では、総合進学コース・AE(アドバンスト・イングリッシュ)コース、そしてIL(インクワイアリーベースト・ラーニング)コースが設置されています。  
※それぞれのコースの特徴については下記参照



中学1年

中学2年

中学3年

「生涯学び続ける人」になるための、探究的な学び

学びのまとめと振り返りを通して、生涯学習者としての成長を実感する

- 教科の枠をこえた学び
- 学びの報告会
- コミュニティー・プロジェクト

実社会で応用可能な学び(スキル、知識、視点)を身につける

- 「概念」(コンセプト)を基盤とする指導
- 学習スキルの習得
- 国際的な視野の育成

8つの教科分野での探究活動を通じて専門知識の理解を深める

- 国語(言語と文学)
- 社会(個人と社会)
- 数学
- 技術・家庭(デザイン)
- 音楽・美術(アート)
- 理科
- 保健体育
- 英語(言語の習得)

コミュニティー・プロジェクト

中学3年間  
学びの総決算  
自分の興味・関心のあることで世の中をよくする1年がかりのプロジェクト活動



過年度のテーマ例

- 消滅危機言語 ● 農業とAI ● 児童労働
- ミソフォニア(音嫌悪症) ● LGBTQ+
- 貧困問題 ● 海のゴミ問題 ● メンタルヘルス
- ゲーム依存 ● 動物虐待 ● 外来種 など

高校1年 高校2年 高校3年

総合進学コース  
General Course  
小規模校ならではの特性を活かし、少人数制によるきめ細かな指導を実施しています。一人ひとりの学習進度に寄り添い、基礎から応用まで幅広くサポートしていきます。

AEコース  
Advanced English Course  
「互いに励まし合いともに歩み、挑戦し続けるCommunicatorの育成」を目標に、All Englishの授業で、地球規模の問題について深く考え、情報や自分の気持ち・意見を論理的に表現する力(発信の能力)を身に付けます。

ILコース  
Inquiry-based Learning Course  
主体的なプロジェクト型・発信型の学びを通じて、「世界の諸問題を他人事とせず自らの課題として積極的に捉え、人々の真の平和と幸福を創り出す人」となるための「実践」を行い、生涯学び続ける姿勢を養います。

人々の真の平和と幸福を創り出す人へ

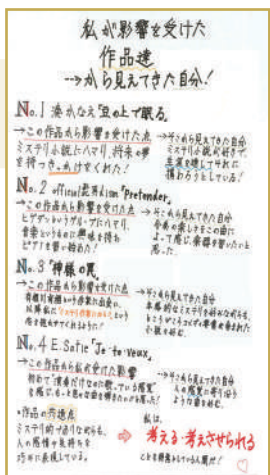
国語



中学1年生

Unit 1 「自分が影響を受けた作品から自分自身を知ろう！」

- 1 自分が影響を受けたと思う作品を挙げる。
- 2 そのうちの1つをクラスの人に紹介。(みんなに自分自身を知ってもらう)
- 3 それらの作品からどのような影響を受けて、今の自分ができあがっているのかを考える。
- 4 その考えた内容を1枚のポスターにまとめる。(自分で自分自身を知る)



生徒作品

理科



中学1年生

Unit 3 「光と音～「届け、この思い」～」

- (光について)
- 1 プロジェクターを段ボールと虫眼鏡で作る。
  - 2 作った結果、なぜ映像が投影できるかについて疑問を持ちそれを解消していくための学びをおこなう。  
教科書の内容：  
光と反射の屈折、レンズによる光の進み方を学習
  - 3 再度プロジェクターを改良し、作成する。
  - 4 ユニットまとめテスト①
- (音について)
- 1 オンラインのオシロスコープ(タブレット使用)で音の波形を読み取る。
  - 2 いろいろな音を出して、高低や大小のちがいによる波の特徴を捉える。教科書の内容：音の高低・大小と波形
  - 3 ユニットまとめテスト②

★総括評価課題「届け、この思い」  
光と音は、人間が遠く離れた人に情報を伝えるためにも利用されてきた。これを応用し、光と音だけで壁の向こうの相手にメッセージを伝える。その際、伝える情報の正確性と速さをどう両立するかを考える。

Student Message

試行錯誤することの大切さを知った 中学2年 Nさん

Unit 3の理科の探究テーマは、光と音の利用でした。人は情報を伝える技術に光と音を利用してきた歴史があります。それぞれの性質を学習し、光ではダンボールと虫眼鏡でプロジェクターを作り、音ではいろいろな音を出してその情報を伝えるという実験を班ごとにおこないました。やり方は自由なので、それぞれの班で意見を出し合って作っていきます。初め、プロジェクターでは、映像が反転したり小さくなってしまったり、なかなかうまくいきませんでした。音の伝達では、情報を人に伝えることの難しさも感じました。放課後にもみんなで集まり、実験室を使わせてもらって取り組めたのは楽しかったです。同じことを繰り返していてもダメ、条件を少しずつ変えて試行錯誤していくことの大切さを学びました。

中学3年生

Unit 3 「2次関数」

- 課題：昭和のアニメに出てきた、あの「長いブランコ」の長さとは？
- 内容：①振子に関する方程式について等式変形をする。  
②振子の周期や振子の長さの関係について探る。  
③昭和のアニメに出てきた、あの「長いブランコ」の長さを求める。  
④実際に振り子を作って、周期や長さの関係について検証する。
- 課題の多くをグループでおこなった。特に最後の検証では各班それぞれが試行錯誤しながら実験をし、完成した振り子の揺れる様子を撮影して動画を提出した。

数学



Hope  
学びの実践

「自分で考えて行動し、振り返りを通じてまたさらに考え行動する」  
他者との比較ではなく過去との比較、さらに未来への学びの構築。  
「本当の学び」がここにはあります。

英語



中学2年生

Unit 1 「My Dream」

- 1 現在世の中にある職業と、今後発展しそうな職業について考える。
- 2 職業体験プログラムに関するテキストや、『捨てないパン屋』の田村さんの紹介記事を読むことを通して、自分が将来なりたい職業をイメージし、それぞれの職業が持つ特徴や問題点、解決策を知る。またそれらを通してスピーチに必要な単語、文法、構造を学ぶ。
- 3 学んだスピーチの構造を活かして原稿を書き、My Dream というスピーチをおこない、自分の将来の夢について考える。

Student Message

自分の将来を考えるきっかけに 中学3年 Mさん

英語のUnitでは、to不定詞を使って自分の将来の夢について一人ずつ英語で発表をしました。2ヶ月ぐらいかけて、まず内容を考え日本語でまとめ、それを英語に直して文章にし、発表に向けて話す練習をしました。私の場合、自分の将来の夢を考えることにたくさん時間を使いました。今の自分と将来の自分について考える良いきっかけになりました。結婚式関連の仕事をする両親の影響もあり、ウェディングプランナーになりたいという自分の夢を発表しました。人を幸せにする仕事をしたという思いがあるからです。大勢の前で話すのは苦手なのですが、発表の後はやりきったことが自信になりました。また、英語の文法を教科書で学んで終わりにするのではなく、自分で使えるところまで深められたという手応えを感じました。

宗教



聖書とイエスの生き方や教えを通して、キリスト教的価値観を学びます。アシジのフランシスコ、コルベ神父やマザー・テレサのような聖人の生涯に触れます。国際社会で共に生きるために、さまざまな宗教を理解し、平和について、生と死について考えを深めて行きます。生徒一人ひとりがかげがえのない存在であることに気づき、喜びを持って他者のために生きる生徒を育てます。

音楽・美術



芸術科では、芸術の良さと美しさ・楽しさを感じる力を養うとともに、想いや意図をもって表現する力を育みます。また、発表や作品の相互鑑賞などにおいて多様な表現への理解を深め、他者への尊重をふまえた自己表現の確立を目指しています。

社会



社会科では、善き社会人、善き市民の育成をねらいとしています。過去から現在の基礎的な事象を理解しながら、自らと事象との関連性を常に意識し、現在から未来の社会において自らを活かせるような視点を養います。そのために、基礎学力の定着および探究活動を通じて理解・思考を深め、社会的な鋭い問題意識を養い、社会の一員としての自覚を育てていきます。

保健・体育



体育では、運動の楽しさや達成感を味わい、安全に留意しながら技能を高めていきます。将来、自ら体を動かし、健康づくりを意識した生活を送れるよう指導しています。保健では、健康に関する知識や技術を身につけ、日常生活で活かすことを目的としています。

技術・家庭



生活に関わる基礎的な知識と技術を習得し、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養います。身につけた力を、家族をはじめとする他者を支えるために積極的に活かしていくことのできる人を目指します。

ICT



生徒一人ひとりに指定のタブレットを準備してもらい、基本的な操作や情報リテラシーを学びます。その上で、授業や課題作成など様々な場面で使用していきます。各教室にはプロジェクターが設置され、大画面でスライドや映像などを見ることが出来ます。授業では、担当教員の他にICT支援員が、生徒のサポートをすることもあります。

ライバルは過去の自分。  
生涯学び続ける人になるために



### 体育祭

5月におこなわれる体育祭。体育祭実行委員が中心となり、ほぼすべての生徒がなんらかの係に就き、複数の競技に出場します。さらには、各学年の生徒が全員で作上げる学園名物「学年演技」をおこないます。全員が「主役」であるからこそ、本校で最もアツク盛り上がる行事となるのです。

# 愛 Charity

## 愛に生きる人となるために

少人数（1学年2クラス）であるからこそ、一人ひとりがお互いを見つめ、みとめ合える環境があります。その中で生徒は、「愛に生きる人」へと成長していきます。



### 学園祭〈ヨゼフ祭〉

クラブや学年、課外活動、委員会、あるいはそういった枠にとらわれない様々な有志が集い、運営や各種の公演・企画をおこないます。いらっしやうの方々に楽しんでもらい、さらに自分たちもおおいに楽しむ。そういった確固たる意志を持った生徒一人ひとりが主体的に動き、自分たち自身の力で作り上げていく。それが「聖ヨゼフ学園の学園祭『ヨゼフ祭』」です。

## St. Joseph's Junior and Senior High School English Speech Contest



### 愛を育む学び

数値でははかれない力を育む体験が、ここにはあります。

### 校内英語弁論大会

生徒が日ごろの学習成果を発信する行事の一つとして、英語弁論大会があります。オーディションを経て代表を勝ち取った生徒は、それぞれ教員からマンツーマンの指導を受け、本番にのぞみます。「英弁」間近になり、学校のあちこちで生徒たちが表情豊かに英文を暗誦する姿は、聖ヨゼフ学園の風物詩の一つです。



## Charity クラブ・委員会

～責任を背負うことの「意味」と「充実」を知る～

### Students Message



部活も委員会も  
今しかできない貴重な時間

高校3年  
サイエンスクラブ部長・  
部長会会長 Mさん

僕はサイエンスクラブの部長で部長会の会長も務めました。サイエンスクラブは、面白そうで、やりたい実験をやるための場所も材料も全て揃っています。先日も動画サイトで見た、びんでできるエンジンの実験に挑戦して大失敗をしました(笑)。理科好きにはたまらない部だと思います。部長会も生徒が主体なので、部活に関する規則や制度を議論して改めたり、すぐに行動できたりするのが特徴です。どちらの活動も、中高の今の時期にしかできない貴重な時間だと思っています。



舞台上立つ楽しさを知る

高校3年  
グリークラブ  
部長 Sさん

グリークラブの魅力は、歌も演技もダンスも全てに挑戦出来ることだと思います。特に1月に行うミュージカル公演は、ゼロから自分たちで舞台を作り上げるため、非常に達成感を感じられます。昨年度は【アラジン】を上演しましたが、プロの舞台に何度も足を運んで研究し、台本を起こすところから始めました。部員それぞれ、自分の役割に責任感をもって取り組んでいます。高2が中心となり、部員全員で1つの舞台を作り上げていく過程は、他では得られない特別な経験です。



アトリウムはいろんな交流が  
生まれる場所

高校3年  
体育祭実行委員長  
Tさん

私は学年対抗で盛り上がるヨゼフの体育祭が大好きです。競技のやり方やルールを「もっとこうしたい!」と考えるようになり、それなら運営側になってみよう、実行委員長になりました。競技を考えたり、ルールや係り決めをしたり、パンフレット制作、グラウンドの線引きや競技の誘導もおこないます。全て生徒主体でおこなっていくので、実行委員として関わっていくことで達成感を味わえます。学校で一番好きな場所は、アトリウムです。自然と人が集まり、学年を越えた交流が生まれ、いろいろな人とコミュニケーションをとることができる聖ヨゼフ学園を象徴する場所です。

## School Event ~みんなが輝くために、みんなで支える～

<b>4 April</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>入学式・始業式</li> <li>新入生オリエンテーション</li> <li>対面式・クラブ紹介</li> <li>始業ミサ</li> <li>授業参観</li> </ul>	<b>5 May</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>体育祭</li> <li>聖母奉献式</li> <li>前期中間試験</li> </ul>	<b>6 June</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内英語弁論大会</li> <li>生徒総会</li> <li>クリスマス賞会</li> <li>(芸術鑑賞会)</li> </ul>	<b>7 July</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>前期期末試験</li> <li>学習テスト</li> <li>夏休み前ミサ</li> <li>(イギリス語学文化研修 17日間) (中3・高1希望者)</li> </ul>	<b>8 August</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>姉妹校(白百合)球技大会</li> <li>関東地区カトリック校女子球技大会</li> </ul>	<b>9 September</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヨゼフ祭</li> <li>前期終業</li> </ul>
<b>10 October</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>始業ミサ</li> <li>宿泊研修(中2)</li> </ul>	<b>11 November</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>追悼ミサ</li> <li>九州方面修学旅行(高2)</li> <li>後期中間試験</li> <li>学習テスト</li> </ul>	<b>12 December</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業試験(高3)</li> <li>クリスマス行事</li> </ul>	<b>1 January</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>書初大会</li> <li>立会演説会・投票票</li> <li>創立記念行事</li> <li>ニューゼalandターム留学(高1・2希望者)</li> <li>コミュニティー・プロジェクト(CP)発表会</li> </ul>	<b>2 February</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>進路相談会</li> <li>学年末試験</li> <li>学習テスト</li> <li>生徒総会</li> </ul>	<b>3 March</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会活動日</li> <li>卒業式(高3)</li> <li>校外学習</li> <li>修学旅行(中3)</li> <li>卒業証書授与式(中3)</li> <li>修了式</li> </ul>

●…中学校の行事 ■…高等学校の行事 ▲…中・高共通の行事

## Club

<b>運動部</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>卓球部</li> <li>テニス部</li> <li>バスケットボール部</li> <li>バドミントン部</li> <li>バレーボール部</li> <li>剣道同好会</li> </ul>	<b>文化部</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>ESS</li> <li>演劇部</li> <li>家庭科部</li> <li>グリークラブ</li> <li>軽音楽部</li> <li>弦楽部</li> <li>サイエンスクラブ</li> <li>写真部</li> <li>書道部</li> <li>美術部</li> </ul>
<b>課外活動</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>華道教室(草月流)</li> <li>茶道教室(裏千家)</li> <li>箏曲教室(生田流)</li> <li>インターアクトクラブ・小百合会</li> <li>カトリック研究会</li> </ul>	

### Teacher Message



自分自身で解きほぐすことができる力を身につけるために

教頭  
武田けい子

生徒一人ひとりが抱えている背景を汲み取りながら、寄り添い関わるのが「愛」なのではないかと考えます。思春期にある生徒たちは、学習や進路、学園生活や人間関係において悩むことが多くあります。複雑に絡み合った事柄を解きほぐすには時間がかかりますが、成年年齢を迎えるまでの限られた時間の中で、聖ヨゼフ学園の教員は、生徒の将来の幸せのため、自分自身で解きほぐすことができるよう話を聞き、声をかけ、一緒に考えています。

## 進路指導

生徒と教員が、一人ひとりの適性を一緒になって見極め、適切な進路をともに見つける。そして、目標を見定めたなら、そこへ向かっていく生徒を教員が支えて進んでいく。そういった、言ってみれば一人ひとりに合わせた「オーダーメイドの進路指導」を行っているのが聖ヨゼフ学園です。



Charity

## 進路指導・進学実績

自己を見つめ将来の道を探索し、自分にふさわしい未来を選択できる生徒を育てます。「オーダーメイドの進路指導」で生徒一人ひとりに向き合います。



### 少人数授業

小規模校の強みを活かし、特に高校2・3年生の選択科目において、少人数の授業を実施しています。毎年のように、教員1人に対して生徒が数名の授業が開講されます。マンツーマン（教員1人に対して生徒1人）となる授業も珍しくありません。また、授業によっては、一つのクラスを複数の教員で受け持つ「TT（チーム・ティーチング）授業」が実施されています。

### 入試対策講座



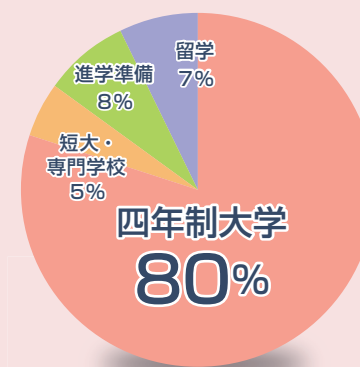
上智大学特別入学試験対策講座の様子

多くの生徒が利用する総合型選抜や学校推薦型選抜の対策として、選抜方法に合わせた対策講座を実施しています。志望理由書作成に向けて、学部研究やプレゼンテーション、卒業生を招いての座談会などさまざまな入試方法に合わせて講座がおこなわれています。

## 聖ヨゼフ学園高等学校 主な大学合格実績

### —— 進路実績 ——

【進学比率】 2025年度  
卒業生数59名

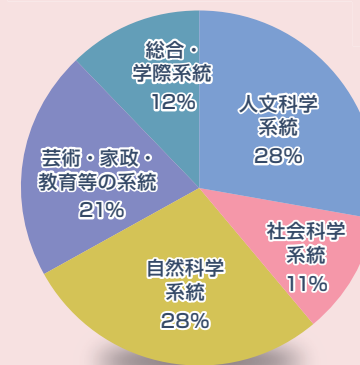


2026年度入試 主な大学合格者数（卒業生59名）



※3月31日現在

### 【大学系統別進学先】



### 指定校推薦について

上智大学（カトリック高等学校対象特別入学試験）  
白百合女子大学（姉妹校推薦・人数制限なし）  
聖心女子大学（人数制限なし）

清泉女子大学、中央大学、明治学院大学、玉川大学、千葉工業大学、東京医療保健大学、東京農業大学、東洋英和女学院大学、日本大学、関東学院大学、横浜薬科大学、立命館大学、東京女子大学、日本女子大学 他多数

## Teacher & Student Message



### 「行ける大学ではなく、行きたい大学へ」をモットーに

進路指導部 部長 宮下玲子

聖ヨゼフ学園の進路指導で一番大切にしているのは、生徒の主体性です。その子がどういう進路を目指したいのかを一番考えています。学校自体が少人数制ですのでそのメリットを活かし、一人ひとりに合わせて細かい指導を時間をかけてできる体制が整っていると思います。受験はチーム戦。一人が頑張っていることで周りにも良い影響を与えていきます。自分一人が合格できれば良いのではなく、みんなで「行ける大学ではなく行きたい大学へ行く」ということを目指して環境づくりを考えています。



### 諦めなかったからこそ叶った合格

卒業生 Oさん  
進学先：慶應義塾大学 文学部 人文社会学科

私が第一志望の大学に合格できたのは、諦めなかったからだと思います。先生方が常に、行ける大学ではなく行きたい大学を目指すように声をかけてくださいました。小論文や英作文などの入試対策にはいろいろな教科の先生が対応してくださいました。私は塾には行かず、学校の勉強だけで受験勉強をしていたので、こうした一人ひとりに親身になってくれる対応がとてもありがたかったです。また少人数なので、クラス全体が温かい雰囲気でした。高校1、2年生のAEコースではクラスメイトと英語で会話をする努力をしてみたり、お互い頑張ろうという気持ちで切磋琢磨出来たりしたのが楽しかったです。大学に入っても、いろいろなことを楽しみながら学んでいきたいです。

### 誰一人取り残すことのない進路指導

卒業生 Tさん  
進学先：早稲田大学 文化構想学部

僕はもともと内向的で、コミュニケーションが苦手な方でした。ヨゼフでは少人数だからこそ一人ひとりのつながりが強く、そんな僕にみんなが手を差し伸べてくれました。進路指導も同じで、誰一人取り残すことのない手厚さがありました。高1の頃から先生方と進路について話し合い、早稲田に行きたいという気持ちが早くからありました。最後の受験の日程の調整も先生方が一緒に考えてくださり、心強かったです。大学に入ったら学部の勉強だけではなく、哲学のサークルに入りたいと思っています。世界史から哲学に興味を持ち、入門書を読んだりしました。大学ではサークルも盛んなので、そこでしか出会えない人との出会いがありそうでワクワクしています。



# 学校生活

SCHOOL LIFE

## 一日の流れ



**登校** 爽やかに始まる  
聖ヨゼフ学園の朝



**終礼・清掃**  
15:00~15:35



**放課後**  
15:35~17:30

**朝礼 8:15~**



講堂朝礼(月1回)では、表彰などが行われます。英語朝礼(週1回)では、お祈りや聖歌などもすべて英語でおこないます。

**午後の授業**  
13:10~15:00  
(月・木:~16:00)



**最終下校 17:30 (学習室は 19:00 まで開室)**

\*学習室は16:30~19:00で、本校教員や学習指導員が必ず入ります。



**午前の授業**  
8:30~12:20



**昼食・お昼休み**  
12:20~13:10

広報委員がお昼の放送を担当し、委員会からの連絡や生徒からのリクエスト曲を流します。

## 中学1年生 時間割(例)

	月	火	水	木	金
1	数学	理科(生物)	体育	理科(化学)	数学
2	英会話	情報	体育	数学	社会
3	英語	音楽	数学	家庭	英語
4	社会	国語	国語	家庭	体育
5	宗教	理科(化学)	英語	社会	美術
6	国語	英語	総合	音楽(美術学習)	国語
7	LHR			英語	



高校3年 K.Kさん / 多田校長先生 / 高校3年 S.Kさん

## 聖ヨゼフ学園はどんな学校だと感じていますか

**K.Kさん(生徒)**: 僕にとって聖ヨゼフ学園は例えるなら「第2の家」のような場所です。先生や友達、さらには先輩・後輩という垣根を越えて、自然体で関わることができます。距離が近い分、時にはけんかをすることもありますが、翌日にはお互い「ごめんね」と素直に謝ることができます。そうやって本音を言い合える関係性が根付いているからこそ、居心地の良さを感じられるのだと思います。

**S.Kさん(生徒)**: 私にとって聖ヨゼフ学園は、「喜びが分かち合える」場所だということをつくづく感じます。ヨゼフ祭や体育祭では、自分たちが楽しむのはもちろんですが、お客さんや他学年などその先にいる「自分たち以外の人」に目を向け、喜んでもらうために工夫を凝らしたり、他の学年が頑張っている姿を見て、素直に「楽しかったね」「あの系の仕事、頑張っていたね」と認めあったりすることで、ともに達成感を味わうことができます。

**多田校長**: 確かに、聖ヨゼフ学園には、教職員も生徒も「みんなで学校を作っている」という一体感があります。自分のことだけでなく、他者へ自然と目が向いている。そんな雰囲気がありますね。それは、シンプルに「人が好き」という気持ちにあるのだと思います。生徒も先生も、お互いを一人の人間として受け入れ、心の距離が近い。それがごく当たり前でできるのが、私たちの学園の誇りだと思います。

ヨゼフトークの動画がご覧になれます



# St. Joseph's Talk

聖ヨゼフ学園とはどんな学校なのでしょうか。学校生活や行事などで感じる「聖ヨゼフ学園」らしさを多田校長と在校生2名がクロストークをしました。生徒目線、教員目線からの話を通して聖ヨゼフ学園の魅力を紐解いていきます。

## 聖ヨゼフ学園の学校生活を通して成長したと思える点がありますか

**K.Kさん(生徒)**: 僕は、以前は人前に立つことが苦手でしたが、今ではそれを「苦」と感じる事が少なくなり、むしろ楽しさを見出せるようになりました。そのきっかけとなったのは、生徒会への挑戦です。特に立会演説会での緊張感、これまでに経験したことのないほど大きなものでした。しかし、その大変さを乗り越えたことが自信に繋がりと、「人前に立つって、意外と楽しいかも」と思えるようになったんです。また、生徒会の経験から「計画性」や「少し先のことを見る力」を学ぶことができました。

**S.Kさん(生徒)**: 私はバレー部に所属しているのですが中学1年生の頃は、少し内向的なタイプでした。上級生になった時、後輩ができ、自分が部活を引っ張っていく立場になりました。「今のままの自分では、チームを回していけない。もっと自分から動かさなきゃいけない」と強く感じました。そこから、どれだけ周囲とコミュニケーションを取れるか、自分の力を尽くそうと決心しました。積極的に関わることによって周囲との絆も深まり、それが大きな自信に繋がりました。

## 新入生へメッセージ

**多田校長**: 私たちの学校は小規模ですが、規模が小さい分だけ、一人ひとりが担う役割はたくさんあります。一人三役、四役と多様な活動に携わるなかで、「自分しかかけがえのない、大切な存在なんだ」ということに自ら気づいていきます。聖ヨゼフ学園での学びを通じて、自分の幸せだけを願うのではなく、周りの人と共に幸せになっていける力を育ててほしいと願っています。あなたの存在が、誰かにとっての「喜び」になる。そんな「喜びをもたらす人」へと成長していく道のりを、私たちは全力で応援します。

## 制服



〈冬服〉



〈夏服〉

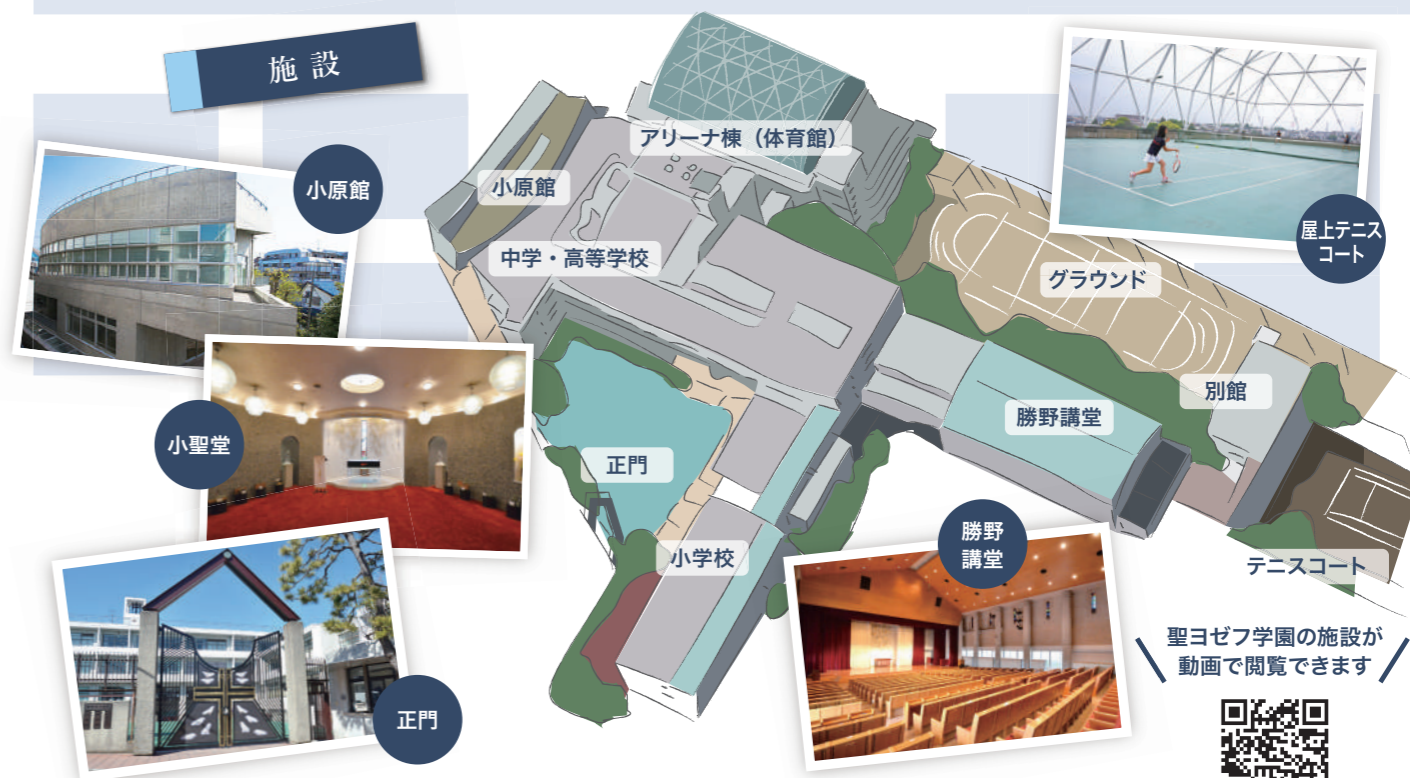


〈夏季登校服〉



〈ジャージ・体操服〉

## 施設



聖ヨゼフ学園の施設が動画で閲覧できます

